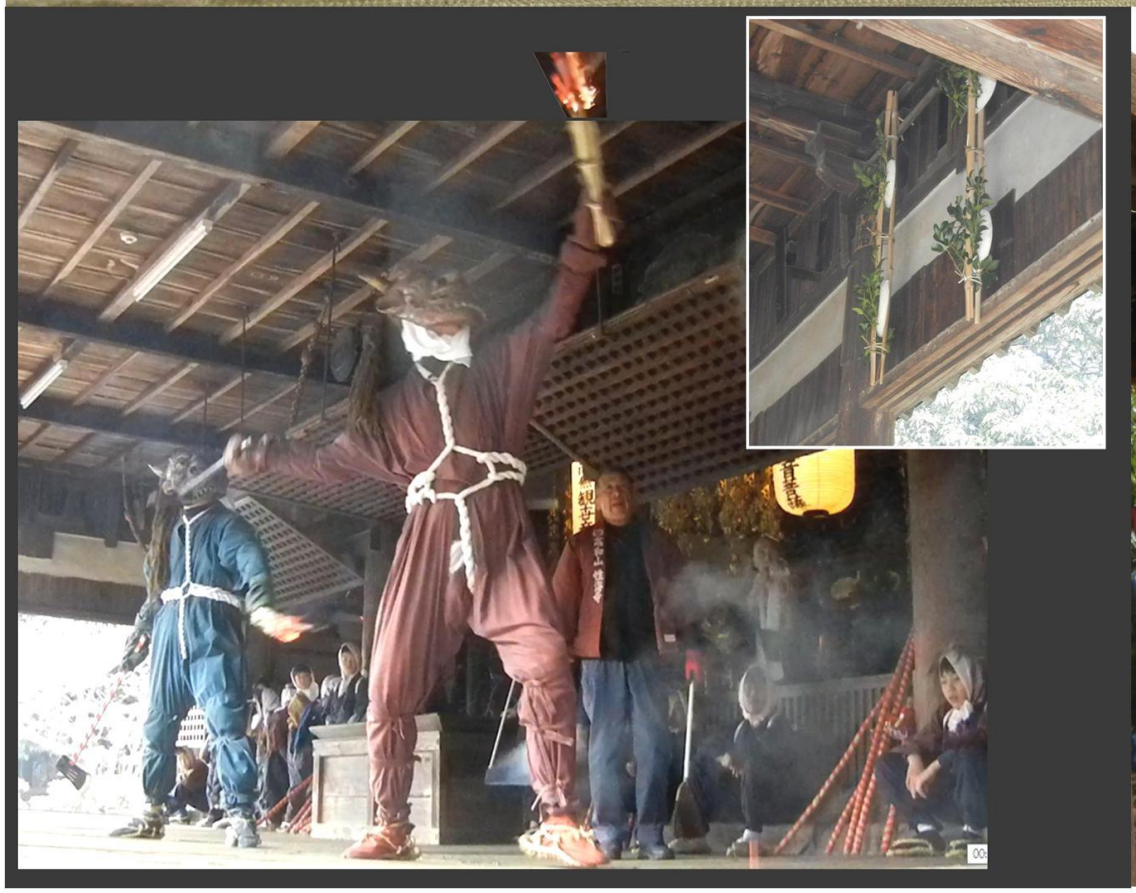
2016年の「鬼」

西神戸　押部谷 高和　性海寺

2016年新春の追儺式・鬼おどり　2016.1.11.







摂津/播州国境地帯に今も残る素朴な新春迎えの行事　　性海寺 新春の修正会 追儺式

摂津・播磨国境に近い西神戸の丘陵地の集落にあるお寺には 今も追儺式が行われている寺がいくつかあり、
毎年 新春や節分に追儺式が行われるので、今年もどこかへ 出かけようと行こうと計画。
自宅から西へ 車や原チャリで約15分ほどの丘陵地の裾にある古刹 押部谷高和の性海寺 新春の追儺式(鬼おどり)を
見学に行ってきました。

性海寺では毎年成人の日に修正会の法要に続き、追儺式が行われていますが、 まだ見学したことがなく、
今年はしっかり見学しようとよく晴れ渡った成人の日 1月11日に性海寺へ出かけました。

性海寺の修正会追儺式・鬼踊り
性海寺では修正会の法要が終ると 本堂で太鼓と法螺貝の音に合わせて 本鬼(赤色・青色)と走り(チョケ:)、小鬼が登場し、鬼踊りを舞う。

鬼はそれぞれ左手に松明を持ち、赤鬼は斧、青鬼は槌を右手に持つ。
走り(チョケ)は瓢箪や柄杓・鉾など出る時によって持ち物を変える。
8匹の小鬼は赤熊を被り、棒を持ち、大将格を「猩々」と呼ぶ。

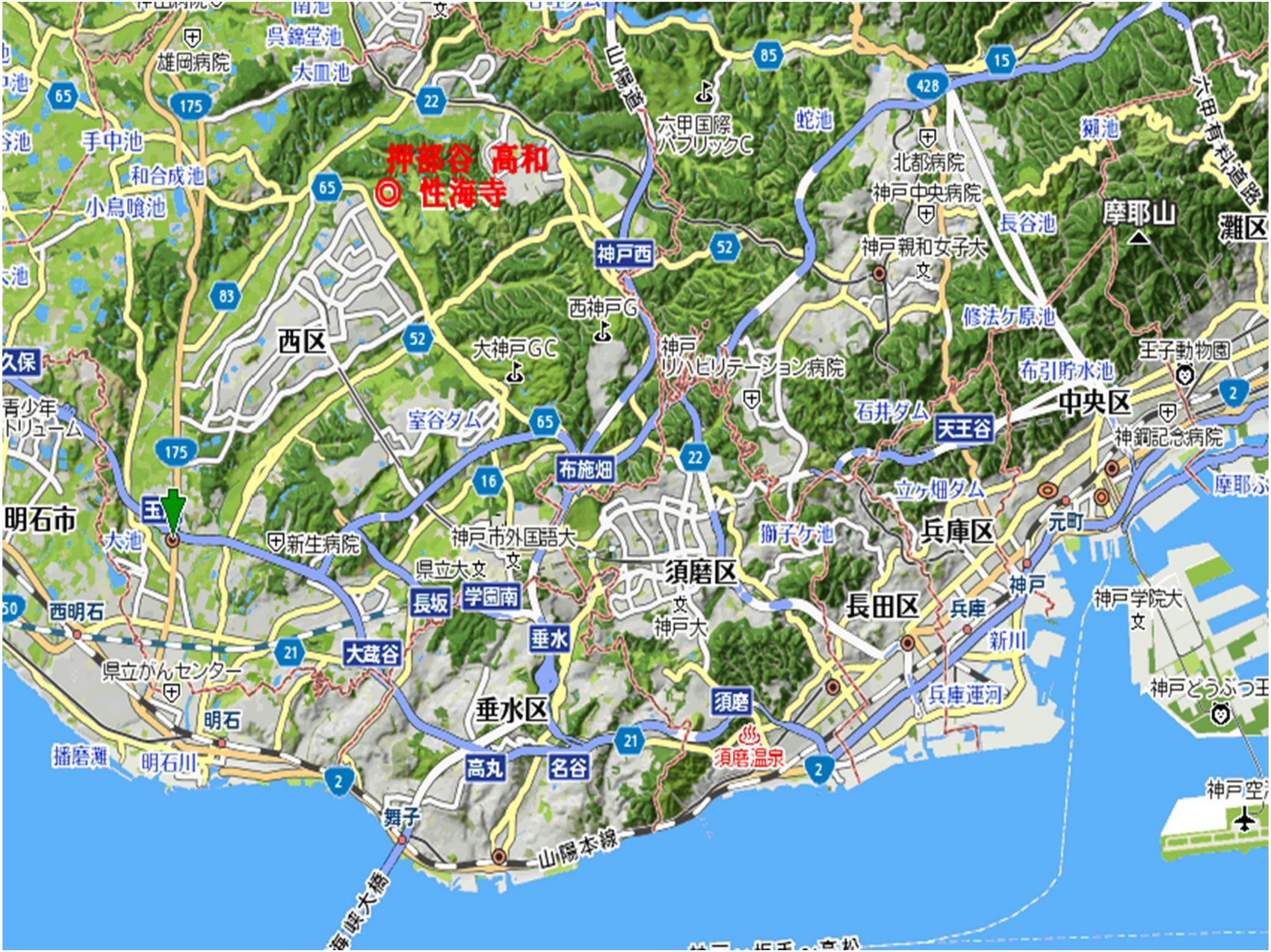
鬼おどりは七番行われ、終盤に「餅切りの踊り」が行われ、内陣と外陣の長押に青竹に挟んで架けられた「餅」を赤鬼・青鬼が斧で割る。
最後には 赤鬼・青鬼は右手に松明、左手に榊[さかき]の葉の付いた枝に紙の花型をつけた鬼花を持って花おどり踊り、本年の平和-・五穀豊穣・家内安全を祈念し、本年の豊作を願う。



◎追儺式・鬼やらい

悪鬼すなわち疫病を追い払うことの意で、平安時代の初期頃から行われていた宮中の年中行事で、
大晦日に殿上人が桃の弓と葦の矢で鬼に扮した者を追い回すという邪気＝邪鬼を払う行事がルーツといわれる。
また、修正会(修正月会)は毎年1月に行われる法要で、国の安寧や五穀豊穣を願う法会、
本来は読経や法要が中心の新春の法会として奈良時代に国分寺、国分尼寺で始まったとされている。

この修正会が迎春の予祝行事や、年越しの追儺式と結びつきながら各地に広まり、地域ごとに様々な形態になっていったと言われています。
追儺式・鬼やらい(鬼遣)」は、もともとは災厄や疫病を運んでくる「悪霊である鬼」を追い払う儀式でしたが、
現在では鬼は「良鬼」とされており、この良鬼が儺(疫鬼)を払い疫病を除く儀式となっています。
この追儺式が、現在の節分の豆まきの始まりとなる行事であったと言われています。


押部谷 高和
◎ 性海寺
雄岡病院
呉錦堂池
大皿池
手中池
和合成池
小鳥喰池
六甲国際
バプリックC
蛇池
北都病院
神戸中央病院
神戸親和女子大
長谷池
摩耶山
灘区
神戸西
西神戸G
大神戸GC
西区
神戸
リハビリテーション病院
修法ケ原池
王子動物園
布引貯水池
中央区
神鋼記念病院
石井ダム
天王谷
室谷ダム
布施畑
立ケ畑ダム
座耶ふ
元町
兵庫区
獅子ケ池
明石市
大池
新生病院
神戸市外国語大
県立大
須磨区
神戸大
長坂
学園南
垂水
大蔵谷
西明石
県立がんセンター
長田区
兵庫
神戸
新川
神戸学院大
兵庫運河
神戸どうぶつ王
垂水区
須磨
須磨温泉
明石
播磨灘
明石川
高丸
名谷
舞子
山陽本線
神戸空
明石海峡大橋



西神戸　押部谷高和　性海寺全景　2016. 1. 11.
左手　塔頭の一つ　福智院　右手山中腹に屋根が見えるのが　性海寺本堂

性海寺は、聖武天皇の天平2年(730年)行基菩薩によって開かれた高野山真言宗の平安時代からの古刹
本尊の秘仏　如意輪観世音は天皇から下賜された香木を行基菩薩自ら刻せられたと伝わっている。
播州の学山として　大いに栄え、修学の僧雲集して七道伽藍完備、70余の僧坊甍を連ねたという。

天正7年（1579年）に羽柴秀吉の三木城攻略の際の兵火により焼失したが、慶安元年（1648年）に徳川家光により本堂・阿弥陀堂等を再建するとの御朱印を賜り、天下泰平・萬民豊楽の修正会（追儺式）を命ぜられる。
それが　現在の性海寺修正会「鬼やらい」(鬼おどり)として受け継がれている。
明治維新まで24寺の塔頭寺院が存在していたが、廃仏毀釈により大半の寺院が焼失し、現在は2寺のみとなっている。


西神戸　押部谷高和　性海寺　2016.1.11.

西神戸押部谷　高和　性海寺　追儺式の「鬼」 2016.1.11.









「追儺式・鬼踊り」のスタート　ほら貝・太鼓の音とともに　赤鬼・青鬼を先頭に子鬼たち最後にチョゲ鬼がお堂の回廊を3周　2016.1.11.

修正会の法要が終ると　本堂で太鼓と法螺貝の音に合わせて　本鬼（赤色・青色）と走り（チョケ:）、小鬼の鬼が登場し鬼踊りを舞う。
鬼はそれぞれ左手に松明を持ち、赤鬼は斧、青鬼は槌を右手に持つ。 走り(チョケ)は瓢箪や柄杓・鉾など出る時によって持ち物は異なる。
8匹の小鬼は赤熊を被り、棒を持つ。小鬼の大将格を「猩々と呼ぶ。
鬼踊りは七番行われ、終盤に餅切りの踊りが行われ、内陣と外陣の長押にかけられた青竹に挟んだ鬼の餅を、赤鬼が斧で割る。
そして、最後に赤鬼・青鬼は右手に松明、左手に榊[さかき]の葉の付いた枝に紙の花型をつけた鬼花を持って花おどりを踊る。


赤鬼
青鬼
チョケ鬼
チョケ鬼
青鬼
赤鬼
大将 猩々を先頭に子鬼たち
チョケ鬼
チョケ鬼

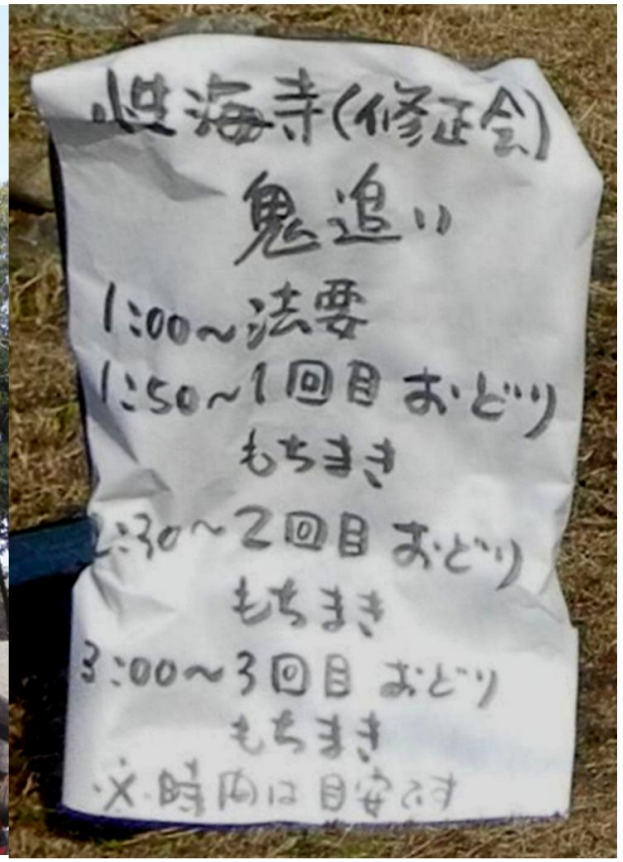
西神戸　押部谷高和　性海寺 の 概要　2016. 1. 11.

性海寺は、聖武天皇の天平2年(730年)行基菩薩によって開かれた高野山真言宗の寺
本尊　如意輪観世音は天皇から下賜された香木を行基菩薩自ら礼刻せられたものという。
白河天皇の御代に奈良西大寺より当時随一の学僧叡尊、興正菩薩が来往し、一山の復興に努力したため、
播州の学山として大いに栄え、修学の僧雲集して七道伽藍完備、70余の僧坊甍を連ねたという。

天正7年（1579年）に羽柴秀吉の三木城攻略の際の兵火により焼失したが、
慶安元年（1648年）に徳川家光により本堂・阿弥陀堂等を再建するとの御朱印を賜り、天下泰平萬民豊楽の修正会（追儺式）を命ぜられた。
明治維新まで24寺の塔頭寺院が存在していたが、廃仏毀釈により大半の寺院が焼失し、現在は2寺のみとなっている。

性海寺の本堂は内陣と外陣がはっきり区別する中世の仏堂形式を残し、本堂背面隅に炉を切って，寵りの部屋としているのも興味が引かれる。この隅部屋に両寺共修正会の鬼の所作の手順を書いた板札や鬼の持物が置かれて，修正会に使われてきたことが知られる。







鬼追いの面、青鬼　　赤鬼、



チョケ鬼の面



性海寺の追儺式の鬼の面



赤鬼・青鬼・チョケ鬼



神戸 押部谷　高和　性海寺「鬼やら　」の

2016年1月11日　性海寺「修正月会結願法要と追儺式　鬼踊り」の進行概要

◎　修正月会　結願法要　　僧侶12名が本堂に入り、読経が始まる。
本尊･如意輪観世音(秘仏)が祀られる立派な厨子の前には、「鬼やらい」に使用する鬼面が祀られている。 その他、餅、花の造花などが供えられ、僧侶の前のお膳台には朱の紐と散華が置かれている。
読経がはじまると間もなく、僧侶たちは牛玉杖(ごおんづえ) と言う魔除けの杖(はぜの木)を持ち、本尊厨子の周囲をぐるりと静かに数回まわる。
本堂の法要を見守る一般の人達にも散華が授けられ、 また、牛玉印が僧侶の額に押された後、拝観者にも順番に押していただき、無病息災を祈念。
読経と厨子の周回が再度続く中で、法要が終わり、僧侶全員が本堂から退出して、法要が終わりました。
そして、少し時間をおいて、ほら貝と太鼓の音が響く中、 赤鬼･青鬼を先頭にたくさんの子鬼たち　そして最後に　走り(チョキ)鬼が本堂に登場して本堂の回廊を3回周って、鬼やらい･鬼踊りが始まりました。

◎　鬼踊り
鬼は本鬼（赤色･青色）と走り（チョケ）、小鬼がでる。鬼はそれぞれ、左手に松明を持ち、赤鬼は斧、青鬼は槌を右手に持つ。
走り(チョケ)は瓢箪や柄杓･鉾など出る時によって、持ち物は異なる。小鬼は赤熊を被り、棒を持つ。小鬼の大将格を「猩々と呼ぶ。
　鬼踊りは七番行われ、終盤に餅切りの踊りが行われ、内陣と外陣の長押にかけられた青竹に挟んだ鬼の餅を、赤鬼が斧で割る。
そして、最後に花おどりを赤鬼･青鬼が右手に松明、左手に榊[さかき]の葉の付いた枝に紙の花型をつけた鬼花を持って踊り、
鬼踊りが終了する。 この間　鬼踊りの途中に3回餅まきがありました。

◇　赤鬼･青鬼･チョキ鬼･子鬼が本堂の回廊を3周まわり、本堂から姿を消すと、 本堂内の正面に　多数の子鬼たちがペアーとなって2列に並び、太鼓と法螺貝をお囃子に　紅白の縞模様の棒を打ち合わせながら、ヤ～ン、ヤンと声を発しながら踊る。
子鬼たちのおどりが終わると再び赤鬼と青鬼が今度は赤鬼が松明と鉾　青鬼が松明と斧を持って登場し、正面厨子の前で　四股を踏むなどのしぐさを入れて踊り、お堂の回廊から去り、また、子鬼たちが踊る。 このパターンを3度繰り返し、1回目の鬼踊りが終了し、餅まきが行われた。
◇　餅まきも終わって、多くの人が帰って、見ている人は大分減ったが、太鼓に合わせて　子鬼たちそれぞれが手に棒を持ち　踊りはじめ、
　第二回目の鬼踊りスタート。
「もう　同じだろうから　帰ろうか?　でも　最後の鬼の餅割りもみとどけたいし。 プログラム聞かねば･･･　」と集落の年寄りに聞くと
「鬼おどりは同じようやが、鬼の持ち物が違うのや。 餅割り式･花おどりもあるよ」と。 やっぱり　2回目　3回目と　最後まで見なければと。
　子鬼たちが踊った後、赤鬼･青鬼ともに松明と斧を持って登場。鬼踊りをして　帰っていき、また　子鬼たちがまた場をつなぐ。
　次にほら貝と太鼓が鳴り響き、今度はチョケ鬼が登場。 冬の日差しも傾き始め、松明と斧を持つチョケ鬼の影がお堂の白壁に際だって映り、美しい。背中にヒョウタンを背負っている。 その後から　もう一つチョケが松明と柄杓を持って登場。 松明の火の粉をまき散らしながら踊り、本堂から降りて、境内の見物者の中にも入ってゆく。 小さな子はびっくりして　泣いている。
　境内をひとしきり徘徊して、本堂へ戻り、帰ってゆく。反対側からは　また赤鬼と青鬼登場し、本堂で踊って帰ってゆく。
　2回目の鬼踊りが終わって　2度目の餅まき
◇　境内をぶらぶらしている間に3回目の鬼踊りが始まり、2匹のチョキ鬼が境内に降りて、愛嬌を振りまいている。
　チョケが引きあげると　赤鬼･青鬼が登場して、この鬼踊りのクライマックス餅割りの踊りに入って行く。
　まず、子鬼たちが踊り、内陣と外陣[の長押にかけられた青竹に挟んだ鬼の餅を、赤鬼が斧で割る。
　以前　ほかの追儺式では鏡餅が飾られていたので、それを探したのですがわからず、 本堂の東の壁の上部に、青竹に餅が挟み込んでしつらえてありました。 夕闇迫る中　暗いお堂の中、赤鬼と青鬼の姿が浮かび上がって　迫力満点。
　お堂の東側から見ていたので、鬼が餅を切る仕草は十分わからぬままに終わっていました。
　そして　鬼踊りも　最後の花踊りへ。　2列に並んで　ペアーでの子鬼の踊りが変わって、一列にならび、子鬼のリーダーが一人一人と棒で叩き合いながら、周ってゆく。 そして　最後、赤鬼･青鬼は右手に松明、左手に榊の葉の付いた枝に紙の花型をつけた鬼花を持って踊り無事終了。
　3回目の餅まきがあって、全行事が終わりました。 1時から4時前まで　長い鬼踊りでしたが　楽しく面白い鬼やらいでした。

子鬼として出てきた性海寺の集落の子供たち　この境内は彼らのホームグランド。 子鬼の踊りもそうですが、行事が始まるのを待つ間も、境内やお堂　そして　浦山を駆けあがり、自由奔放　実に愉快な子鬼たちでした。 この性海寺の鬼踊りが、間延びせず、楽しいのもこの子鬼たちあってと思います。久しぶりに見るわんぱく坊主集団　　爽快でした。

1月11日　修正会 追儺式・鬼踊りを待つ性海寺



1月11日　追儺式・鬼踊りを待つ性海寺の境内　2016.1.11.

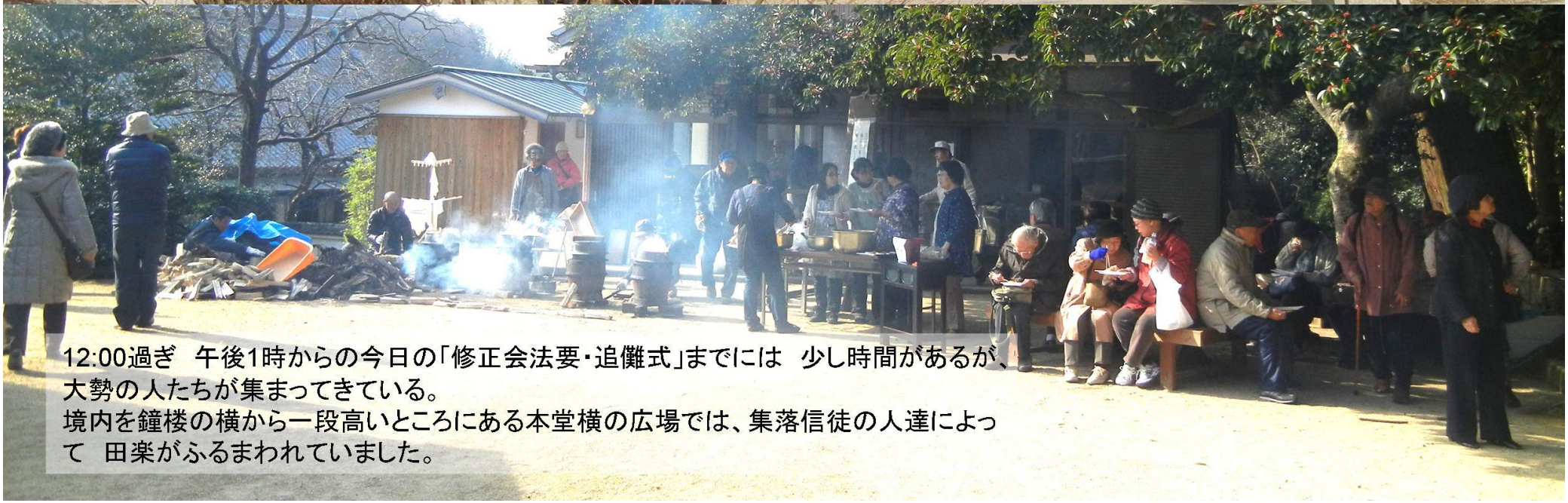
1月11日　修正会 追儺式・鬼踊りを待つ性海寺



性海寺の境内　2016. 1. 11.　　右手奥が性海寺の本堂

1月11日　修正会　追儺式・鬼踊りを待つ性海寺





12:00過ぎ　午後1時からの今日の「修正会法要・追儺式」までには　少し時間があるが、大勢の人たちが集まってきている。
境内を鐘楼の横から一段高いところにある本堂横の広場では、集落信徒の人達によって　田楽がふるまわれていました。

1月11日　修正会 追儺式・鬼踊りを待つ性海寺



高和集落　檀家の人達による田楽のおふるまい　2016.1.1..

1月11日　修正会 追儺式・鬼踊りを待つ性海寺



高和集落　檀家の人達による　田楽のおふるまい　2016.1.1..

1月11日　修正会追儺式・鬼踊りを待つ性海寺



性海寺　本堂　本尊の秘仏　如意輪観世音が厨子の中に祭られている　2016.1.11.



性海寺　本堂の中　外陣より内陣を見る　ここが鬼踊りの舞台となる　2016.1.11.

内陣と外陣とに分かれた様式は中世の寺院建築の特徴をよく残しているといわれている







性海寺　本堂　内陣中央須弥壇のお厨子　と　外陣　ここが鬼踊りの舞台となる　2016.1.11.



性海寺本堂　内陣正面　須弥壇　　お厨子の前には　赤鬼･青鬼の面がおかれている　2016.1.11.



12人の僧侶により、法要が行われるが、法要の中で　僧侶たちは魔除けの杖(はぜの木)を持ち、
須弥壇の周りを数回周る。　僧侶が座る前のお膳台には朱の紐と仏を散華が置かれている







サカキに造花　蓮の花？ を巻き付けた散華がかざられ、須弥壇の前には赤鬼・青



鬼追いの面、青鬼　赤鬼、



チョケ鬼の面



性海寺　追儺式の鬼の面



赤鬼・青鬼・チョケ鬼





13:00　僧侶が本堂に入り、法要がはじまる　　2016.1.11.



2016.1.11.　性海寺修正会　追儺式　法要


2016.1.11. 性海寺修正会 追儺式 法要



2016.1.11. 性海寺修正会 追儺式 法要　法要を見守る一般の人にも散華が下げ渡される







2016.1.11.　性海寺修正会　追儺式　法要　　法要を見守る一般の人にも散華が下げ渡された



いただいた「散華」を持ち帰って　どうすれば良いか？
集落の古老に教えてもらった　2016.1.11.









法要の間　本堂の外では　子鬼に扮した子供たちが、実に自由奔放　本堂や境内を駆け巡る

わんぱく坊主　昔を思い出して　こっちも楽しくなる　　2016.1.11.



法要の間　本堂の外では　子鬼に扮したやんちゃ坊主たちが、実に自由奔放　本堂や境内を駆け巡る



法要の終了を待つ子鬼たち　のびのびと育って　　思わず見とれる　2016.1.11.



法要の終了を待つ子鬼たち　2016.1.11.



多くの人達が集まりだした境内と法要の終了を待つ子鬼たち　2016.1.11.



法要の終了を待つ子鬼たち　2016.1.11.









いよいよ法要も終わり　杖を持って　須弥壇　本尊の周りを周回し、読経のあと御朱印を額にいただく　　2016.1.11.



一般のひとたちも御朱印を額にいただき、法要が終わった　2016.1.11.



13:00 前　本堂の横に鬼に扮する人たちも集まり、
お堂の裏に入って いよいよ 追儺式・鬼踊りが始まる　2016.1.11.



2016年　性海寺　追儺式・鬼おどり　　2016.1.11.

ほら貝と太鼓に合わせて、赤鬼・青鬼・子鬼　そしてﾁｮｷ鬼が出てきて 「鬼踊り」が始まり、
まず　お堂を三周する　　赤鬼の手には松明と斧・青鬼の手には松明と金槌
子鬼たちは棒、前のチョケ鬼は腰にヒョウタンをぶら下げ、前のチョケは松明と斧　後のチョケ鬼は松明と鉾を持つ



赤鬼・青鬼を先頭に本堂回廊を3周して鬼踊りがはじまる　2016.1.11.



赤鬼・青鬼を先頭に本堂回廊を3周して鬼踊りがはじまる　2016.1.11.



赤鬼・青鬼を先頭に本堂回廊を3周して鬼踊りがはじまる　2016.1.11.

お堂2周目









赤鬼・青鬼を先頭に本堂回廊を3周して鬼踊りがはじまる　2016.1.11.



赤鬼・青鬼を先頭に本堂回廊を3周して鬼踊りがはじまる　2016.1.11.



赤鬼・青鬼を先頭に本堂回廊を3周して鬼踊りがはじまる　2016.1.11.

お堂2周目





松明を叩いて　厄祓いの火の粉を境内にもまく





赤鬼・青鬼を先頭に本堂回廊を3周して鬼踊りがはじまる　2016.1.11.



鬼たちが去ると　お堂の中で太鼓に合わせて　子鬼たちが二人一組になって、棒を打ち合わて、舞い踊る
ご場面が変わるごとに　そのつなぎとして踊られ、踊りもそのつど変化して　鬼踊り全体をつないでゆく



子鬼たちのおどりが終わると再び赤鬼と青鬼が登場し、
正面厨子の前で　四股を踏むなどのしぐさを入れて、踊りを始めた

今度は赤鬼が松明と鉾　青鬼が松明と斧を持っている



お堂内部正面のお厨子の前で拝礼　両側にも仏がまつられ、両側でも同じしぐさで拝礼する









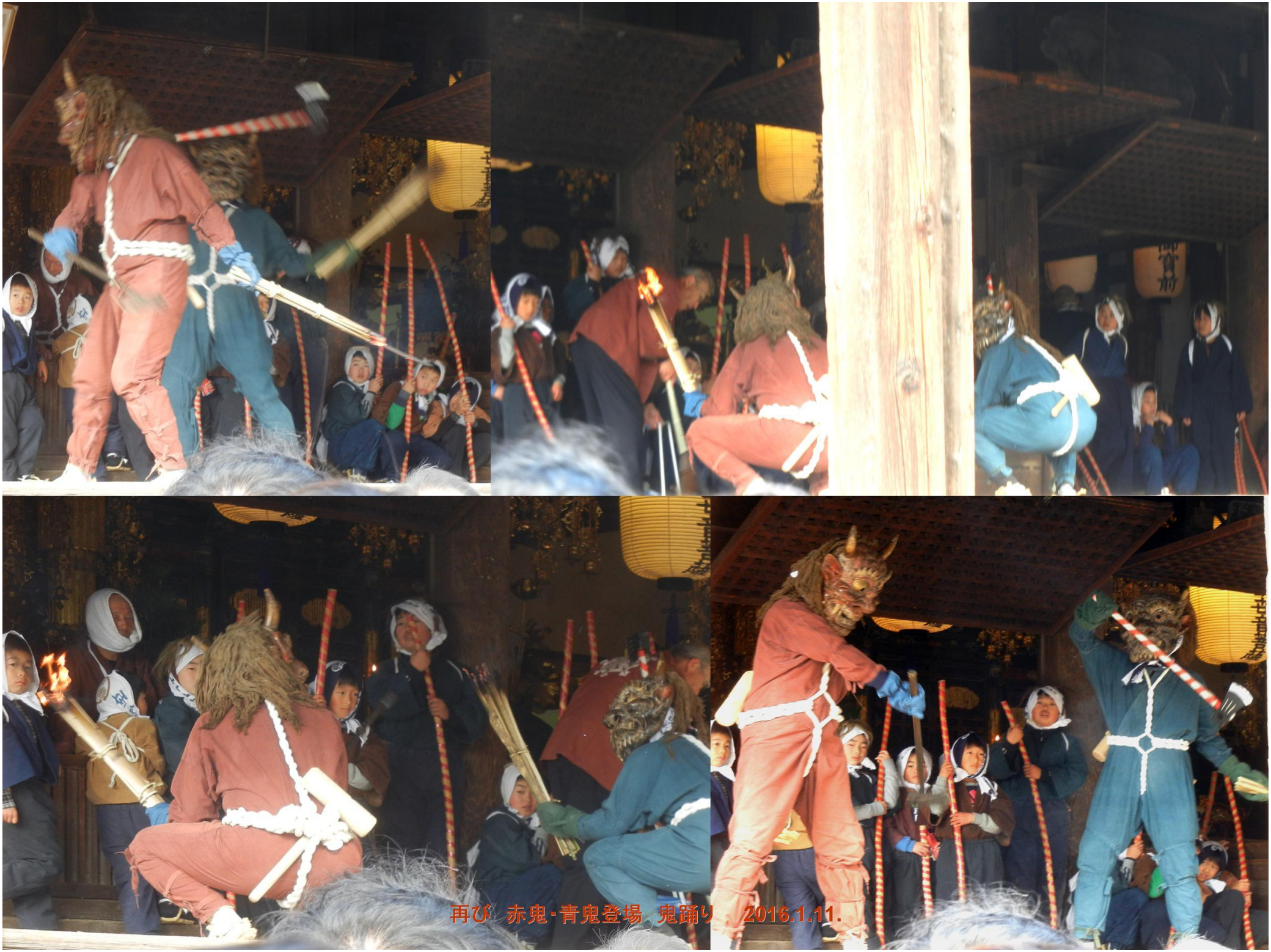
鬼おどりの場面場面をつなぐ子鬼たちの舞　先ほどの舞とは少し仕草が変化している 2016.1.11.







鬼おどりの場面場面をつなぐ子鬼たちの舞　　2016.1.11.



再び　赤鬼・青鬼登場　鬼踊り　2016.1.11.



赤鬼・青鬼登場　鬼踊り　その後ろで 子鬼たちが 眼をパッチリ 眺めている 2016.1.11.



赤鬼･青鬼登場　鬼踊り



赤鬼・青鬼登場　鬼踊り　　2016.1.11.



赤鬼・青鬼登場　鬼踊り　　2016.1.11.



赤鬼・青鬼登場　鬼踊り　　2016.1.11.





赤鬼・青鬼登場　鬼踊り　　2016.1.11.



1回目の餅まき　鬼踊りの合間に3回ありました


1回目の餅まき　鬼踊りの合間に3回ありました



1回目の餅まき　鬼踊りの合間に3回ありました



二回目の鬼踊り

餅まきも終わって、多くの人が帰り始めた。
「鬼踊りは同じだろうし、もう　帰ろうか？　でも鬼の餅割りは見届けたい」と。
集落の年寄りに聞くと「鬼おどりは同じようやが、鬼の持ち物が違うのや。
餅割り・花おどりもあるよ」と。　それなら　最後まで見ようと。







赤鬼・青鬼　どちらも今度は松明と斧を持って現れた



赤鬼・青鬼の踊り



赤鬼・青鬼の踊り



赤鬼・青鬼の踊り



赤鬼・青鬼の踊り









ちょけ鬼の登場　鬼たちは　みんな本堂の裏の部屋から出て　回廊をまわって正面へ



陽がかげりだして　鬼の姿が白壁に写って　実に美しい　ちょけ鬼　2016.1.11.



陽がかげりだして　鬼の姿が白壁に写って　実に美しい　ちょけ鬼　2016.1.11.



陽がかげりだして　鬼の姿が白壁に写って　実に美しい　ちょけ鬼　2016.1.11.



陽がかげりだして　鬼の姿が白壁に写って　実に美しい　ちょけ鬼　2016.1.11.



陽がかげりだして　鬼の姿が白壁に写って　実に美しい　ちょけ鬼　2016.1.11.


ちょけ鬼　2016.1.11.
LYNX
Club






ちょけ鬼 2016.1.11.
MIZUNO


ちょけ鬼　2016.1.11.



本堂の裏から　赤鬼・青鬼がでてきました　2016.1.11.



回廊へ向かう赤鬼　2016.1.11.





回廊へ向かう赤鬼・青鬼　2016.1.11.



赤鬼・青鬼の鬼踊り　2016.1.11.
保存会の集落の古老たちが　水の付いた箒で飛び散った火の粉を消して　はきとる


赤鬼・青鬼の鬼踊り 2016.1.11.



赤鬼・青鬼の鬼踊り　2016.1.11.



赤鬼・青鬼の鬼踊り　2016.1.11.



赤鬼・青鬼の鬼踊り　2016.1.11.



赤鬼・青鬼の鬼踊り 2016.1.11.

餅切りりの鏡餅どこにあるのだろうか？不思議でしたが、 お堂の東の壁に掛けられていました



子鬼たちのおどり
2回目の鬼踊り･餅まきが終わって　鬼踊りを見ていた人もダイアﾞ少なくなりました。
私も次の鬼踊りから　場所を変えようと…‥　2016.1.11.



子鬼たちが舞う本堂を境内から眺める　2016.1.11.



子鬼たちが舞う本堂を境内から眺める　2016.1.11.



境内をぶらぶらして　戻ると鬼がお堂から下へ降りてきた







境内で厄を祓うという火の粉まき散らすチョケ鬼　2016.1.11.



境内で厄を祓うという火の粉まき散らすチョケ鬼　2016.1.11.









境内で厄を祓うという火の粉まき散らすチョケ鬼　2016.1.11.



子鬼たちが速いテンポの踊りを披露し、いよいよクライマックス
赤鬼・青鬼の餅切りに入って行く 2016.1.11.


無観音菩薩
御寶前


いよいよ クライマックス
赤鬼・青鬼の餅切りへ入って行く
御寶前









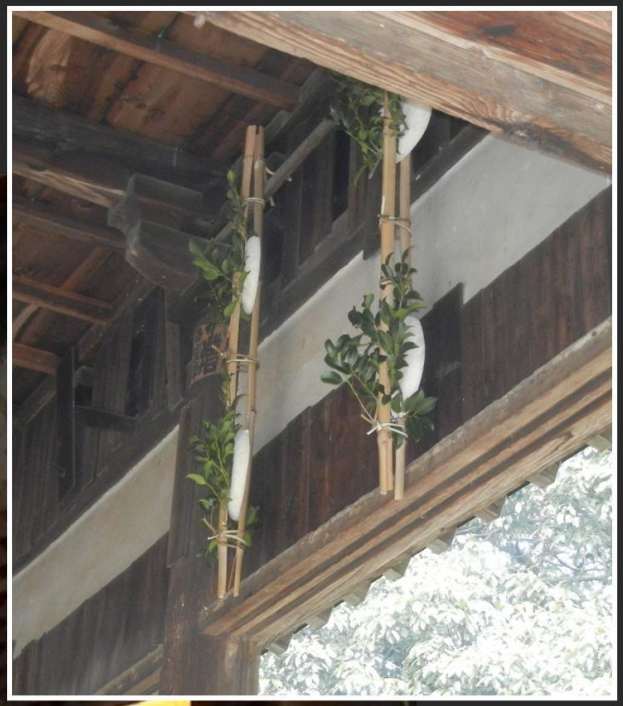

観音菩薩
観音菩薩
御寶前


餅切り


餅切り

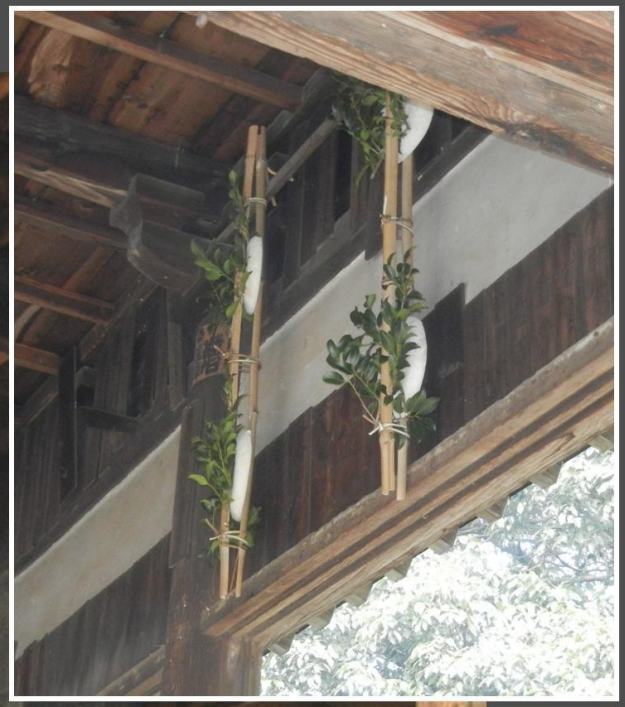
餅切り

内陣と外陣の長押にかけられた青竹に挟んだ鬼の餅を、赤鬼・青鬼が斧で割る。











餅切り 1



餅切り 2



餅切り 3



餅切り 4



餅切り 5≪餅切り≫





餅切り 1



餅切り 2



餅切り ≪餅切り≫





餅切りが終わり　子鬼たちの踊りも密集して　テンポの速い踊りへ







ちょけ鬼も再度　境内に降りてきて　いよいよ　鬼踊りも最後の花踊りへ向かう


ちょけ鬼も再度　境内に降りてきて いよいよ　鬼踊りも最後の花踊りへ向かう



ちょけ鬼が姿を消すと子鬼たちが本堂正面の回廊に一列にならび、大将の「猩々」が一人一人と棒で叩き合いながら周ってゆく。 そして いよいよ 最後の花踊りへ



花おどり

最後に赤鬼・青鬼は右手に松明、左手に榊[さかき]の葉の付いた枝に紙の花型をつけた鬼花を持って踊る。

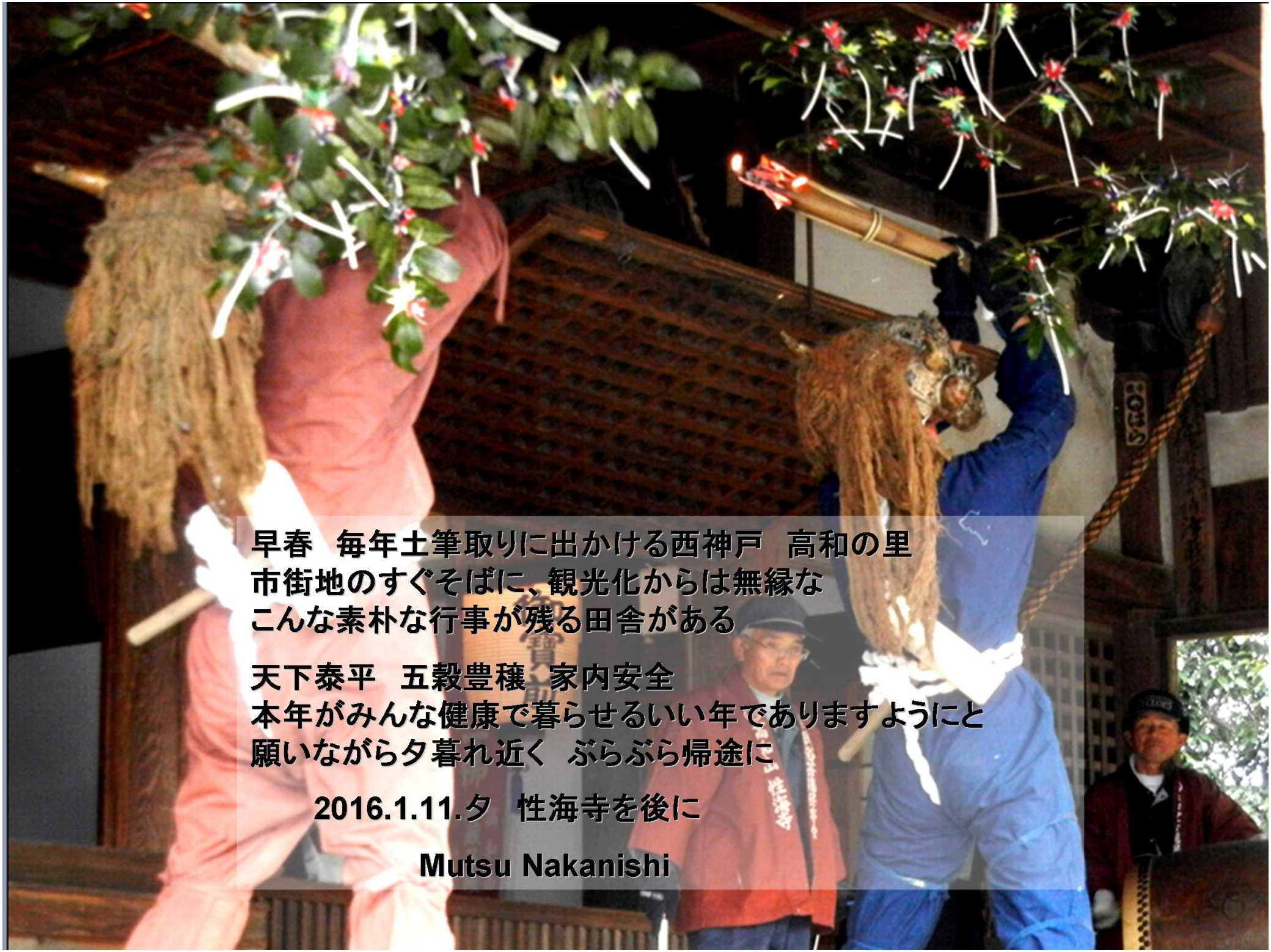

御寶前


観音菩薩
観音菩薩



赤鬼・青鬼は右手に松明、左手に榊の葉の付いた枝に紙の花型をつけた鬼花を持って踊り、
2016年新春の追儺式は無事終了。 最後に3回目の餅まきがあって、全行事が終了。





早春　毎年土筆取りに出かける西神戸　高和の里
市街地のすぐそばに、観光化からは無縁な
こんな素朴な行事が残る田舎がある

天下泰平　五穀豊穣　家内安全
本年がみんな健康で暮らせるいい年でありますようにと
願いながら夕暮れ近く　ぶらぶら帰途に

2016.1.11.夕　性海寺を後に

Mutsu Nakanishi



鬼追いの面、青鬼　赤鬼、



チョケ鬼の面

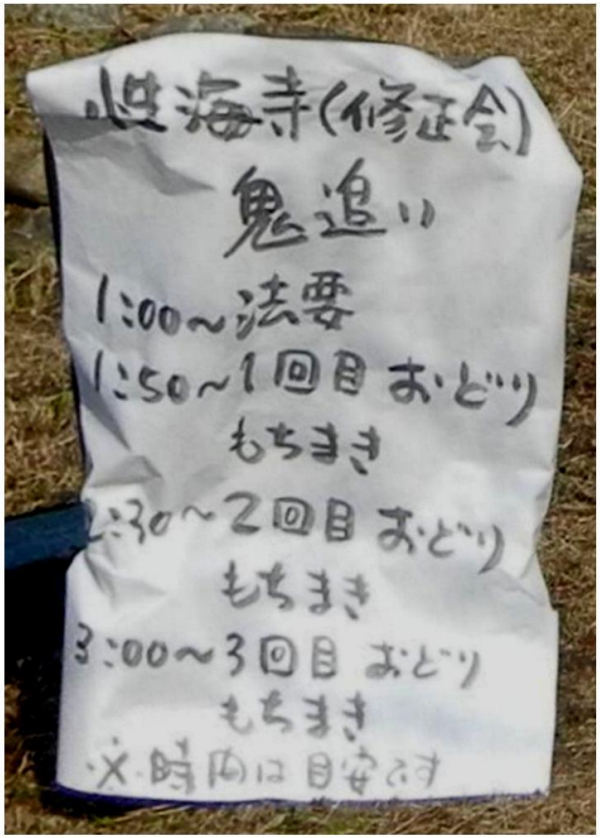




性海寺の鬼【1】　　赤鬼・青鬼・チョケ鬼


赤鬼
青鬼
チョケ鬼
チョケ鬼
子鬼たち
神戸 押部谷　高和　性海寺「鬼やらい」の鬼たち　2016.1.11.

西神戸　押部谷高和　性海寺 の 修正会 追儺式　2016. 1. 11.



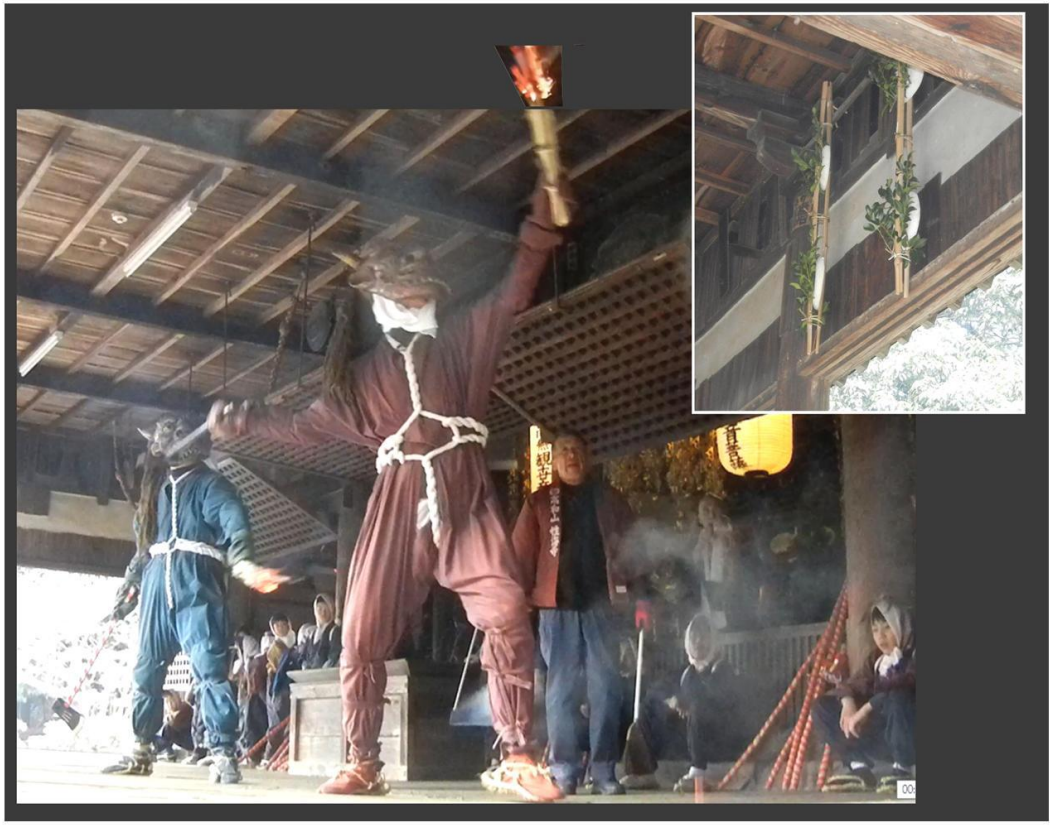
最後、赤鬼・青鬼は右手に松明、左手に榊の葉の付いた枝に紙の花型をつけた鬼花を持って踊り無事終了。 3回目の餅まきがあって、全行事が終わりました。

昼間の追儺式は迫力がないと思っていましたが、1時から4時前まで
長い鬼踊り。 飽きることなく楽しく面白いでした。

住職や僧侶・村の古老ほか多くの村の人達とこの行事や村のことなど 色々教えてもらえたのも集落。 本当にフレンドリーでした。

子鬼として出てきた性海寺の集落の子供たち　この境内は彼らのホームグランド。
子鬼の踊りもそうですが、行事が始まるのを待つ間も、境内やお堂　そして　裏山を駆けあがり、自由奔放　実に愉快な子鬼たちでした。

この性海寺の鬼踊りが、間延びせず、楽しいのもこの子鬼たちあってと思います。久しぶりに見るわんぱく坊主集団　　爽快でした。



早春　毎年土筆取りに出かける西神戸 高和の里

西神戸には　市街地のすぐそばに、観光化からは無縁なこんな素朴な行事が残る田舎がある。

天下泰平　五穀豊穣　家内安全
本年がみんな健康で暮らせるいい年でありますようにと願いながら　夕暮れ近く　ぶらぶら帰途に

2016.1.11.夕昏　　高和の性海寺を後に

Mutsu Nakanishi



西神戸　押部谷高和　性海寺全景　2016. 1. 11.

西神戸　押部谷 高和　性海寺

2016年　新春の追儺式・鬼おどり　2016.1.11.



